

平成3年 3月24日

## 令和2年度学校評価結果報告

墨田区立立花吾孀の森小学校

校長 向井 一郎

### 1. 平成2年度・令和元年度学校評価結果の回答数(%)の状況

	令和2年度 回答家庭数 248 (%)	A	B	C	D	E
1	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	48	38	2	1	11
2	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	38	38	3	1	20
3	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	24	28	1	1	46
4	学習意欲や学習習慣の定着	34	48	11	4	3
5	明るく楽しい学校生活	63	29	4	2	2
6	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	47	44	4	1	4
7	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	42	47	4	1	6
8	保護者会・学校公開・HP等による広報	46	39	8	1	7
9	道徳の時間の充実と心の教育の継続	31	35	2	1	31
10	一貫教育の工夫と実施	26	36	1	1	36
11	運動会・展覧会等の学校行事の適切な実施	23	35	5	2	35
12	教育環境の整備や施設の安全管理	38	35	1	1	25
13	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	41	43	1	1	14

「A=よい B=おおむねよい C=一部改善が必要 D=改善が必要 E=わからない」

	令和元年度 回答家庭数 289 (%)	A	B	C	D	E
1	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	57	35	3	1	4
2	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	45	38	4	0.7	12
3	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	43	42	0.7	0.3	14
4	学習意欲や学習習慣の定着	35	51	9	3	2
5	明るく楽しい学校生活	65	30	1.7	0.7	1.7
6	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	45	48	5	0.3	1
7	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	46	43	5	0.7	5
8	保護者会・学校公開・HP等による広報	42	44	7	2	5
9	道徳の時間の充実と心の教育の継続	36	42	3	2	17
10	一貫教育の工夫と実施	38	43	2	0	17
11	運動会・学芸会等の学校行事の適切な実施	65	30	3	0.3	1
12	教育環境の整備や施設の安全管理	55	37	1	0.7	6
13	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	57	36	1	0.3	5

## 全体を通して

○それぞれの項目で A と B と答えた合計数が概ね 80% (前年度 90%) 前後になり、昨年度よりもポイント的に 10% 平均下がっている。

○OE については平均 10% 上がっている。この二つの傾向には関連があり、今年度、新型コロナウイルス感染症の予防対策のために、学校生活を公開できなかったことも背景にあると考えられる。

○学校行事の開催にあたっては、感染症予防のための様々な制限の中で進めたために、【項目 11】に見られるように A と B を合わせた数値が 58% (95%) と大幅に下がっている。

○行事の内容、実施方法の改善だけではなく、地域・保護者への公開の方法について工夫する。

○OC、D を合わせた回答数が 10% を超えている項目が、【項目 4】「学習意欲や習慣の定着」である。これは昨年度も同様 (15%←12%) であるので、全校で 15% の児童には、まだ学習習慣が確立できていないということであり、この状況を真摯に受け止め、ICT 機器類なども生かしながら改善する。

○【項目 5】「明るく楽しい学校生活」では、A、B 合計が 92% (93%) の評価である。新しい生活様式の中での学校生活を工夫しながらも、基本である「明日が楽しみになる学校」づくりをさらに目指し、受け継がれている校風や独自の取組をさらに発展させる。

○【項目 6】「あいさつ」「思いやりの心」は、本校の教育の要である。A、B 合計が 91% (93%) と高く評価されていることの重さを忘れず、学校生活全体において意識して指導を続ける。

○【項目 9】「道徳の時間の充実と心の教育の継続」については、A、B 合計が 66% (78%) と下がっている。道徳授業地区公開講座の実施はなくても、児童を通して、「心の教育」が確実に行われていることを、家庭にお伝えできなかったことを反省したい。日常的に家庭との連携を図る工夫をする。

○【項目 10】「一貫教育の工夫と実施」については、A、B 合計が 62% (81%) である。幼保・小・中の連携は、同じ地域に生きていく児童の教育にとって重要なことであり、情報の共有、指導が継続できる工夫を行い、それが地域・家庭に見えるようにする工夫を行う。

## 新年度に向けて

### 1 分かりやすい授業により学力の向上を目指す

教員による教材の開発、授業方法の工夫の充実を図る。その際、ICT 機器類の効果的な活用や、各種振り返り教材、ドリルの適切な場面での利用を行う。また、個別指導、放課後の補習などを通して、児童のつまずきに早く気づき、対処することで学力の向上を進める。

### 2 心の教育の継続

学校教育全体で、児童一人一人が、「一人の人間」として大切にされるように、道徳の授業の一層の充実、立吾しぐさの呼びかけ、地域・保護者との連携等を確実に行うようにする。

### 3 学校生活の「見える化」の工夫

学校公開の場、行事への参観だけではなく、日常の中においても、学校ホームページ、ICT 機器類の効果的な活用により、学校生活が「見える」ための工夫をする。

新型コロナウイルス感染症予防のために、児童に様々な不安を抱かせることの多かった一年でしたが、地域・家庭のご理解、ご協力をいただいていたことで、それを解消していくことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

学校評価に様々な具体的なご意見もいただきました。誠にありがとうございました。